

鮒おこし



第 16 回定時社員総会を終えて

副会長 中山 光明

富山県社会福祉士会第 16 回定時社員総会が、令和 6 年 5 月 25 日富山県民会館にて開催されました。

冒頭に清水会長より「今年より対面での記念講演が出来る事となり大変うれしく思っています。また、日頃の社会福祉士会の研修や活動に沢山の会員の皆様の協力があり感謝しています」と挨拶がありました。総会内で、まず 1 号議案 2 号議案が審議されました。1 号議案では、各委員会より 2023 年度の事業報告と 2 号議案では 2023 年決算報告が行われ、監査報告にて、監事より財産及び事業の執行は正しく表示していると示していただきました。また、議案資料集では、改正された規程、規則の資料も参考として提示されました。定時社員総会の 2 議案とも無事承認され、令和 6 年度がスタート出来る事となり会員の皆様の協力がある事と役員一同感謝申し上げます。

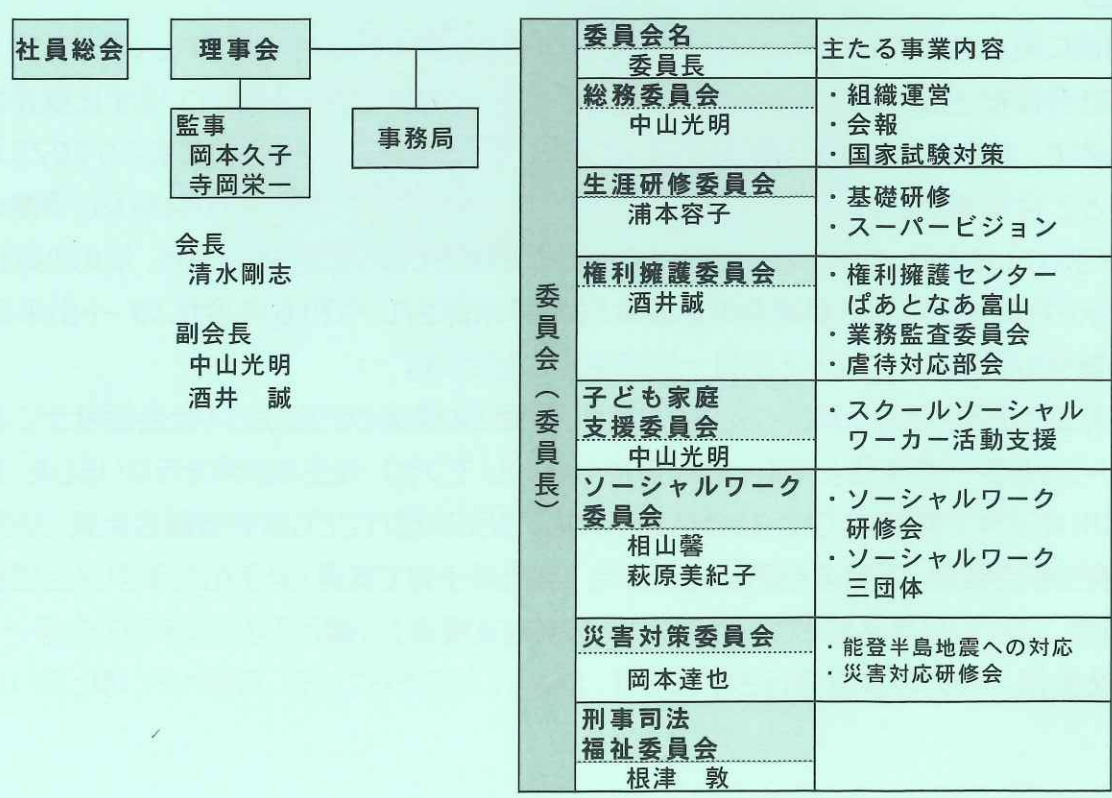
5 年ぶりの記念講演は講師の先生をお招きし対面での講演となりました。「社会福祉士に求められる家族ソーシャルワークの実践」と題し、倉石哲也（くらいし てつや）先生の講演を行ないました。倉石先生は、武庫川女子大で教鞭をとられ、社会活動としても、こども家庭庁こども家庭審議会委員 幼児期までのこどもの育ち部会委員 児童虐待防止対策部会 富山県子育て支援・少子化対策県民会議基本計画策定部会 特別委員等活動され、著書も「子ども家庭支援論」「親と子が育つ子育て支援—保育者の専門性と支援スキル」等多数発行されています。皆さんも熟読されている、著書も多い事と思います。



講演会では、まず、専門職として「家庭」への認識を説明され、家族に頼り過ぎない支援、家族機能に期待しない支援、犯人捜し、原因探しは厳禁と話され、しんどそうな人に寄り添い自己決定を支える事が専門職として大切で「家族主義」に陥る私たち自身に警告を発する事も忘れてはいけないと教えていただきました。次に改正児童福祉法の施行や国の動向、こども家庭ソーシャルワーカーについて、困難事例の理解・逆境的体験や面接技法にわたるまで多岐にわたり講演を頂きました。

今回倉石先生には、今後私たちのソーシャルワークに必要な専門職の心構えや、いかに家族と向き合い支援していくかの大きなヒントと助言を頂き、明日への活力となる貴重な講演となりました。今年度の総会会場参加人数は70名近く、椅子を追加するほどの大盛況となりました。当会では、今後も会員の皆様の研鑽のお手伝いを始め、研修の企画、会員交流の機会を持ち委員会活動を通して、皆様のお手伝いができる活動をしていきたいと思っています。

一般社団法人 富山県社会福祉士会 運営組織図

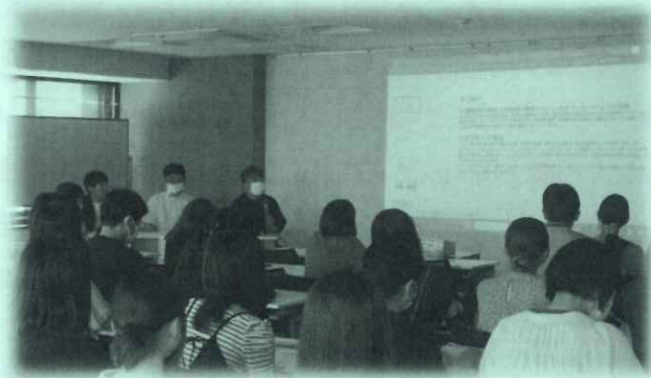


ソーシャルワーカーデー2024 in とやまを開催しました

7月15日（月）に救急薬品市民交流プラザ（射水市）で「ソーシャルワーカーデー2024 in とやま」を開催しました。

一般社団法人富山県社会福祉士会、富山県精神保健福祉士協会、富山県医療ソーシャルワーカー協会の主催で「ソーシャルワーカーと被災地支援」をテーマに、2024年1月1日に発生した能登半島地震の被災地で支援を行ったソーシャルワーカー、被災地ボランティアに関わった学生の活動報告を行いました。発表後、富山国際大学（子ども育成学部）の学生の進行でグループに分かれ、「震災や今日の発表を聞いてソーシャルワーカーとしてどう感じたか」について意見交換を行いました。

当日はソーシャルワーカーとして活躍されている方々以外にも、学生や一般県民の参加も多く、90名近くの方に参加していただき、自分たちは何ができるか、どんなことを大切にしていけるか考える時間となりました。



生涯基礎課程「基礎研修」に参加して

基礎研修では、社会福祉士が共通に必要な価値・知識・技術を学び、専門性の基礎を身につけることを目的としています。基礎研修Ⅱを受講した2名に感想を頂きました。



社会福祉法人 射水万葉会 よろこび滑川ケアセンター 濱田大翔

昨年基礎研修Ⅰを受講し、今年は基礎研修Ⅱを受講しています。先日参加した集合研修では理論を理解しそれを言語化すること、言語化した内容を正確かつ的確に伝えられているかという視点を持って、グループワークやロールプレイを行いました。言語化し伝えるという練習を経て、これまでは自分の思考を客観的に整理できず、抽象的なものになっていた可能性があったと感じました。理論を理解し言語化することで、根拠のある支援ができるという学びを深めることができました。言語化する習慣をつけ、今回得た学びを実践の場で生かしていきたいと思います。また、今回は対面での研修で Zoom を使ったオンライン研修とは異なり、他分野の受講者と意見交換することによって自分の考えを深める機会となりました。研修は来年3月まで続きます。それぞれ目標や課題を持った受講者と意見を述べ合い、切磋琢磨しながら学びを深めたいと思います。

社会福祉法人 富山聖マリア会 特別養護老人ホーム 常楽園 松井香織

昨年は基礎研修Ⅰを受講し、引き続き基礎研修Ⅱを受講させて頂いております。

今年の研修もまだ始まったばかりですが、期間の長さや事前課題の難しさに辟易しながら取り組んでおります。ただ、これまで受講して感じたことですが、自分が日々行っている実践やその根拠、倫理観について言語化して正しく相手に伝えることの難しさを改めて感じています。対人援助職として、日々「これで良かったのか」との迷いはありますが、研修の受講を通して講師の先生、ファシリテーターの方、グループワークで一緒になった方々のお話を聞きながら自分の日々の実践の振り返り、視野が広がる思いを毎回感じています。そして様々な分野で活躍している社会福祉士の方々のお話は自分にとってとても刺激があり学ぶことが多いと感じています。今後もそういった刺激を受け、社会福祉士として自分を高めていけるよう学びを深めていきたいと感じています。

社会福祉士国家試験全国統一模擬試験を実施します

社会福祉士国家試験合格を目指す方を対象として、社会福祉士国家試験全国統一模擬試験を実施します。お近くの受験予定の方に周知いただきますようお願いいたします。

主催：一般社団法人富山県社会福祉士会

日程：2024年10月6日（日）10：00～15：30

会場：株式会社富山県総合情報センター 富山県富山市高田 527（情報ビル内）

受験料：5,000円（振り込み）

申込期限：2024年8月30日（金）

詳細は一般社団法人富山県社会福祉士会のホームページをご覧ください。

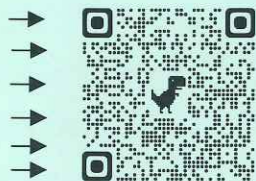


私のおススメの本

以前から会員の方から募集している「私のおススメの本」のコーナーですが、下記のアンケートでも募集したいと思います。おススメの本としていますが、映画や漫画なども大歓迎です。事務局へメールで原稿をお送りいただくことも可能です。みなさまのおススメを心待ちにしております。

★アンケート★（ご意見をお聞かせください）

皆様のご意見を、鯉おこしに反映させられたらと思います。お気軽にご意見をお寄せください。



アンケートは
こちらから



事務局からのお知らせ

事務局へのお問い合わせは、E-mail またはお電話でお願いいたします。

（土日・祝祭日を除いた 10：00～15：00） ※4月より水曜日も開局となりました。

連絡先 Tel/Fax：0766-55-5572 E-mail：toyama.csw@gmail.com

会員数 503 名（令和6年6月末日現在） 研修を受け自己研鑽に努めましょう。

編集後記

前回のアンケートで、書籍のおススメを知りたいとのご意見がありましたので、今回募集させていただきました。本を読む習慣をつけなければと思っていても、買うだけで満足してしまい、家で積まれているだけの本がないでしょうか。世間ではこれを「積ん読」と呼ぶそうです。私は、この鯉おこしをきっかけに積ん読しそうだった『何回説明しても伝わらない』はなぜ起こるのか」という認知科学者の今井むつみ先生の著書を読みました。

普段の業務で、なかなか相手に伝えたいことが伝わらないといった経験が皆さんにもあるのではないのでしょうか。クライアントとの面談はもちろん、職場の方や関係機関の方々とのコミュニケーションでも生じる問題ではないかと思います。この著書では、『人は、何をどう聞き逃し、都合よく解釈し、誤解し、忘れるのか』を知ること。そうした特徴を持つ人間同士が、それでも伝え合えるように考えることが、『いいコミュニケーション』の実現には不可欠であることを認知科学の視点から書かれています。

私たちの福祉の現場において、人とのコミュニケーションは不可欠であると考えます。福祉とは違った視点で、人とのコミュニケーションのポイントを学ぶには良い本だと感じたので、皆さんもよければ読んでみて下さい。子育ての本やアニメ、映画など、色んな視点で捉えることで学びを得られるポイントがあると思います。色んな価値観を共有できればと思います。

皆さんもぜひ「おススメ本の紹介」のコーナーをきっかけに、「積ん読」を減らしてみたいはいかがでしょうか。

(原田)

